

## 事業実績書

団体名	小鯖地域づくり協議会
-----	------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

地区住民および各種団体が連携・協力して、豊かで住みよい安全な 地域づくりを進める。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地域の各種団体の活動の見直しを含め地域づくりの取組み・仕組みの課題を探り具体的検討を行い、新たな地域づくりを目指す。		
	事業名	小鯖これからプロジェクト	決算額	計) 51,469円
②	視点	いつ発生するか予測できない自然災害に対して、地域の防災意識の向上に努め、具体的な避難所資材を充実させ各種の自主訓練に役立てる。 (自主訓練の充実)		
	事業名	自主防災支援事業	決算額	計) 155,719円
③	視点	高齢化を迎えた現実を直視し、地域住民・家族への具体的サポートや知識の向上、地域の助けあい等の支援が出来る環境づくり		
	事業名	高齢化社会に向けた施策	決算額	計) 30,468円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
<p>①小鯖これからプロジェクト：昨年度に続き、全住民アンケートの結果を踏まえ、第4次地域づくり計画の策定に反映すべく、アンケート結果の分析・説明を各年齢層や、役割毎に行った。各種団体の役員等の役割の見直し(役の棚卸)を外部支援団体の支援を受け行った。団体の事業内容、各役員の業務、(事業や業務の見える化)から、4年度の計画策定に向けこれらを反映できるよう進める。</p>	◎
<p>②自主防災支援事業：平成21年度の被災の記憶が薄れるなか、昨年度山口市総合防災訓練の開催を受け、一部ではあったが地域住民も参加し気持ちを新たにしたが、本年度はコロナ感染防止の観点から、タイムリーな情報発信(コロナ対応のチラシ、自主避難の注意点、避難手段)等を行った。年度末の3月に防災学習を計画したが中止せざるを得なかった。これらを次年度に活かし防災の基本的な知識の拡充に繋げる。</p>	○
<p>③高齢化社会に向けた施策：講習会【認知症サポーター講習、福祉体験】の取組みを計画したがコロナ感染対策の観点から全て中止となった。しかし、今後においては部会の枠を超え、「助け合い、支え合い」への取組み方の中で生きがいの探求、助け合いの仕組みづくり等総体的に検討して行く必要があり、次年度は助け合いの具体的な活動が見えてくるところへ引き上げる。</p>	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

今年度は、負担軽減を目指し専門部会は2事業で活動したが、コロナ感染対策により屋内事業を中心に全て中止となった。外部の協力を得て「全住民アンケート」を分析・検討を重ねその結果から3つの課題を中心に、第4次地域づくり計画策定委員会を設置し策定を進める。

## 5 事業内容

### (1) 協議会運営

事業費	5, 558, 352円
事務局の運営体制	<p>(事務員等の雇用人数): 事務局長 1名、事務局員 2名 計 3名</p> <p>(運営費の主な内容): 事務局人件費、事務費、通信費、各事業費の管理、広報活動 他</p> <p>(成果・評価): 年間を通じて滞りなく事務局運営を行った。</p> <p>(今後に向けて): 令和3年度に実施した「全住民アンケート」の分析・検討を基に、第4次「小鯖地域づくり計画」(令和5~9年度)策定に向けた策定委員会を設置し、具体的検討に着手するとともに体制づくりを進める。</p>

### (2) 地域振興

事業名	2-① 助け合い・支え合い活動の立ち上げに向けて
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 地域住民による、勉強会を募集し約20名が参加した。全体の勉強会を2度実施し、そのメンバーから、今後の助けあいの仕組みづくりに向けたメンバーを選出した。引き続きコア会議を重ね次年度にはニーズ調査にこぎつけた。</p> <p>(実施時期): コア会議(打合せ)11/16、~3/24迄6回、全体会議10/21,12/23,2/7</p> <p>(参加人数): 約26名</p> <p>(成果): 参加者には改めて自分の住む地域の高齢化の問題を再認識すると共に、行政サービスの限界を伺い、地域での共助の仕組みの必要性を理解出来た。次年度は更に介護に関する様々な制度や、社会福祉の観点からも第1層関係の研修を続ける。</p> <p>(評価): ー</p> <p>(今後に向けて): 第4次計画の策定に絡め、更にコンプライアンスも含めた研修を重ねる。</p>

### (3) 地域福祉

事業名	3-① 生きがいづくり支援
事業費	30, 468円
事業概要	<p>(実施内容): 高齢者生きがいセンターを活用したさばろっち交流広場活用のPR活動、健康や生きがいをポイントにしたグランドゴルフの支援に取り組んだ。</p> <p>(実施時期): 「さばろっち交流広場」常時開設。健康グランドゴルフ(10月17日)</p> <p>(参加人数): 「さばろっち交流広場」の利用者数は約300人/年で減少傾向(里の駅にも集いの場が出来たため)。「健康グランドゴルフ」(43人)</p> <p>(成果): グランドゴルフは大会としてでなく健康増進を目標にしたもので、参加者は楽しくプレー出来、目的を達成した。</p> <p>(評価): ー</p> <p>(今後に向けて): 継続して活動すると共に、関連団体等との共催や異年齢との交流が出来るよう支援していくことが必要と考える。</p>

事業名	3-② 高齢者サポート
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 高齢者在宅家族サポート研修・講習を計画した。</p> <p>(実施時期): 認知症サポーター講習会(11/13)開催予定をしたが、コロナ感染対策上中止とした。</p> <p>(参加人数):</p> <p>(成果):</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 引き続き北東包括支援センターが推進する「地域包括ケアシステム」とタイアップした形で検討を進め、的を得た活動を推進したい。</p>

#### (4) 安心・安全

事業名	4-① 生活安全対策
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 自治会長の協力を得て、空家の実態を調査を実施した。福祉委員協議会の理解のもと、少人数防災教室(サロン)を開催した。</p> <p>(実施時期): 空家調査(8月～11月)、調査結果説明(12月2日) サロン9/14 10/30</p> <p>(参加人数): 空家:23地区自治会長を通じて、対象1,900戸を調査</p> <p>(成果): 空家としての確認は124戸。その内、防火防犯上対応が必要なもの 3戸。地区自治会で対応が難しいため、山口市に対応を依頼した。少人数サロン防災講座は福祉委員の百歳体操時に併せて実施し講評。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 地域の安心安全につながる事業として、重要であり各方面と強調し、事業を継続する。</p>

事業名	4-② 交通安全対策
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): 地区内において交通安全上、危険と思われる個所の調査を各地区自治会の協力を得て調査した。</p> <p>(実施時期): 交通上危険な個所の調査 調査期間(7月～8月末)、調査結果説明(12月2日)、関係機関への要望(9/27)</p> <p>(参加人数): -</p> <p>(成果): 交通危険箇所情報 6件申請があり、警察等と立会い調査も行き、その後標識・表示の改善がそれぞれ対応された。</p> <p>(評価): この取組みは4年継続している事業で、地域住民から安全上大事な取組みと評価を得ている。</p> <p>(今後に向けて): 少子高齢化が特に進む小鯖地内は危険と思われる個所が多い。引き続き活動を続ける。</p>

(5) 環境づくり

事業名	5-① 地域環境整備（萩往還整備、鳴滝公園プール整備、正田山の環境整備）
事業費	75,978円
事業概要	<p>(実施内容)：小鯖地区住民ボランティア、往還道語り部の会他協力を得て歴史の道「萩往還道」周辺(重点的に山口防府市境の佐波山トンネル地区の約800m)の草刈り等の整備、また鳴滝河川プール開き前に周辺の草刈り整備を実施。</p> <p>(実施時期)：萩往還整備年2回(6月19日、10月16日)、鳴滝公園プール(7月17日)</p> <p>(参加人数)：萩往還(6月19日530名、10月16日49名)、鳴滝河川プール(26人)</p> <p>(成果)：この取り組み事業は7年を経過し、萩往還や鳴滝河川の環境保全の意識も高くなり、一定の参加者数が確保出来、定着化してきている。</p> <p>(評価)：萩往還コースの美観環境を守ることは散策者の増加につながる。また、自然の中の河川プールということで、市外からの家族連れも多く見られる。</p> <p>(今後に向けて)：小鯖の財産である萩往還、鳴滝河川プールの整備は、継続して行く。</p>

(6) 地域個性創出

事業名	6-① ニュースポーツ等の振興
事業費	5,826円
事業概要	<p>(実施内容)：ニュースポーツ(クップ、カヤック、クライミング)の体験会を企画し実施した。</p> <p>(実施時期)：9月26日</p> <p>(参加人数)：20人(小学生を対象)</p> <p>(成果)：新しいスポーツに親しめる機会を増やす事に繋がった。特に地域内の企業と共催し、起業の地域貢献にもつながった。</p> <p>(評価)：参加者からは、今後も体験会を重ね、人の交流が広がることを期待する声、及び企業や団体の協調が生まれる事は地域発展につながる。</p> <p>(今後に向けて)：スポーツの既成のルールに拘らずに、皆が楽しめる新しい楽しみ方を考える事を検討する。担当者の負担軽減を視野に入れ新たな時期計画にも盛り込む。</p>

(7) 小鯖地域自主防災会

事業名	7-① 小鯖自主防災訓練・研修の推進事業
事業費	17,999円
事業概要	<p>(実施内容)：令和2年度の「小鯖地域防災実動訓練」の実施を手本に、コロナ禍で実施できる訓練内容を絞り込み計画した。安心安全部会のサロン講座に協力した。</p> <p>(実施時期)：残念ながら、コロナ感染拡大防止の観点から大掛かりな訓練中止とした。</p> <p>(参加人数)：</p> <p>(成果)：研修等は中止したが、梅雨時期や、台風、等の時期に併せて、啓発チラシを配布する等、地域住民の防災意識を繋げた。</p> <p>(評価)：</p> <p>(今後に向けて)：「災害は忘れた頃にやってくる」事からしても、研修訓練等は継続し、地区単位の防災活動も支援する。</p>

事業名	7-② 災害発生防止対策事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容):コロナ禍のため具体的活動は控えた。 (実施時期): (参加人数):— (成果):— (評価):— (今後に向けて):次年度は、自主防災研修等の計画とも合わせ、実施する。

事業名	7-③ 避難時必要資材充足
事業費	137,720円
事業概要	(実施内容):自主防災及び避難に関連した資材補充を行なった。 (実施時期):令和3年10月～令和4年3月 (参加人数): — (成果): 高齢者に対応した簡易ベッドの購入。啓発資材準備 (評価):— (今後に向けて):避難時に必要と思われる資材を主に補充していく。

(8) 補助・助成事業

事業名	8-① 地域活性化事業
事業費	64,884円
事業概要	(実施内容):当初は、「そうめん流し支援」の計画であったが、夏まつり中止となり、小鯖写真コンテストに変更し、写真募集、審査、表彰、展示を実施した。 (実施時期):令和3年9月～12月 (参加人数): 応募作品22点 (成果): 10回を数えるコンテストとなり定着を見ている。コロナ禍の影響でまつり等の行事が中止になり、応募作品の評価も上がりつつある。 (評価): — (今後に向けて): 小鯖地区外からも多く応募も受け付けるような体制の検討及び技術向上のための研修の機会を設ける。

事業名	8-② ふれあい配食
事業費	36,740円
事業概要	(実施内容):「ふれあい配食」弁当の衛生管理、食中毒発生防止の観点から「圧力鍋、温度計」を補充を支援した。 (実施時期):ふれあい配食(10、12月、3月実施) (参加人数):毎回 約100食を配布。 (成果): 独居高齢者の見守りも兼ねた取組みであり、少ない配食回数ではあるが、地域の高齢者対策の一環として感謝されている。 (評価): — (今後に向けて):調理や食中毒対策に対応した器具補充を継続して取り組むと共に、支援団体の意見を取り入れ協調していく。

事業名	8-③ 小鯖地域敬老会(送迎バス代助成)
事業費	0円
事業概要	(実施内容):小鯖地区社会福祉協議会の事業である小鯖地区全体の敬老会開催計画で推進したが、コロナ感染拡大防止の観点から中止となった。 (実施時期): — (参加人数): — (成果): — (評価): — (今後に向けて):今後も地区社協と強調し計画的に実施する。

事業名	8-④ 子育てサロン支援
事業費	10,019円
事業概要	(実施内容):地区内住民の要望に応え、子育てについて若い親の相談相手をする「子育て支援活動」(実施主体:子育て支援連絡協議会)を、特に会議費、支援者の昼食等を助成した。 (実施時期):毎週木曜日(10:00~15:00) (参加人数):毎週約5組程度 (成果):「子育て支援」に関する意見交換が毎回多く出ている、コロナ感染への心配から参加者が減少した。 (評価): — (今後に向けて):継続して「子育て支援活動」を支援する。

事業名	8-⑤ 小鯖っ子見守り隊支援
事業費	0円
事業概要	(実施内容):小鯖っ子の登下校時の安全を確保する、見守り活動を年間通じて行なっている。 (実施時期):令和3年4月~令和4年3月 (参加人数):現在見守り隊登録の会員数は約85名。恒常的に活動する者は延べ15名/日 (成果): — (評価):安心感の醸成に繋がると共に、地区住民からは感謝されている。 (今後に向けて):見守り隊員の高齢化も進み隊員数も減少しつつある。継続して取り組んでいるが、高齢化による活動休止、地域によっては通学通路を通う児童がいない等により活動の必要性が無いとの声もあるが、統一された服装は地域の防犯にもつながることを踏まえ継続できるよう検討する。

事業名	8-⑥ 青色防犯パトロール活動の支援
事業費	83,380円
事業概要	(実施内容):基本的巡回時間を設け、地域内を車で見守り巡回を実施し、地域の事故防止や児童の防犯・安全対策として活動を継続する支援者に対し、燃料代等を補助 (実施時期):毎週1回巡回 令和3年4月 ~ 令和4年3月(以降も継続) (参加人数):活動メンバー 10人 交代で参加(年間約4,500km走行) (成果):巡回パトロールの防犯・事故防止に興垂kがある。5名の増員を得て10名態勢となった。 (今後に向けて):様々な地区内の防犯や事故防止の活動と協調し安心・安全な地域を実現して行く。

事業名	8-⑦ 防犯灯設置推進補助
事業費	22,000円
事業概要	(実施内容): 新規・取替え設置 1灯に対し、2,000円の助成した。 (実施時期): 年間 (参加人数): 取付自治会からの申請に基づき 11件補助金を交付した。 (成果): — (評価): — (今後に向けて): 地域内の防犯対策の観点から、今後も助成を継続する。

事業名	8-⑧ 花いっぱい運動推進
事業費	4,375円
事業概要	(実施内容): 地区内公共の花壇整備をする各団体(自治会、子ども会を除く)に対し、その整備費用に対して助成する。 (実施時期): 令和3年6月～令和4年1月 (参加人数): 1件 (成果): — (評価): 助成内容と申請要領の見直しの結果1件の活動があった。 (今後に向けて): 環境美事業は次年度以降も継続して実施予定。個人、団体問わず助成する。

事業名	8-⑨ 一斉清掃活動推進
事業費	135,000円
事業概要	(実施内容): 道路・河川・広場等の清掃共同活動を実施する自治会団体に対し、その整備費用に対して助成した。(各地区、年2回まで) (実施時期): 令和3年4月～令和4年3月 (参加人数): 延べ27地区 (年2回まで助成) (成果): 各自治体単位で計画的に実施され、環境美化維持に貢献。 (評価): 小鯖地区全体として、様々な補助を活用した清掃活動により一年を通して整備されている。取組の定着が更に期待できる。

事業名	8-⑩ 猫・TNR活動補助
事業費	47,990円
事業概要	<p>(実施内容): 飼い主のいない猫を増やさないように、地区内の有志サークルで取り組むTNR活動費用の一部を補助した。</p> <p>(実施時期): 令和3年7月～令和4年3月</p> <p>(参加人数): 3団体取組み (11匹) 手術</p> <p>(成果): 生き物に対する飼い主の責任、地域猫への対応等についての認識が高まりつつある。</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて): 猫の繁殖は想像以上のものがある、動物愛護の観点からも、TNR活動を進めるとともに継続してPRを進める。</p>

事業名	8-⑪ 小鯖夏まつり
事業費	258,214円
事業名	小鯖ふるさとまつり
事業費	270,000円
事業概要	<p>(実施内容): コロナ禍により「まつり」が中止となり、次年度に向けた用品購入費用を助成した。</p> <p>(実施時期): 中止</p> <p>(参加人数): —</p> <p>(成果): — 夏まつり実行委員会に対し、照明用配線設備費補助、ふるさと祭りに対し展示ブース用掲示設備に補助実施</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて): まつり開催助成の継続的実施。</p>

事業名	8-⑫ 若者のびのび事業
事業費	5,588円
事業概要	<p>(実施内容): 若い世代が主体になった企画提案、特に地域活性化に繋がる事業について取り上げ、助成を行う。</p> <p>(実施時期): 令和3年9月</p> <p>(参加人数): 延べ12名</p> <p>(成果): 若い世代を中心に、小学校創立150周年を前に、ジオラマの作成を行い世代の一体感を醸成した。</p> <p>(評価): —</p> <p>(今後に向けて): 新規開拓する事業の取組を進めると共に、本事業のPRを進め、次年度は小学生にも本事業に参加を進め150周年を機会に地域の一体感を醸成する。</p>



事業名	8-⑬ さばろっち活動
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容): ゆるキャラ「さばろっち」(着ぐるみ)を活用し、地域内の行事等に参加し活性化すると共に、地域外のイベントにも積極的に参加してその場を盛り上げ、小鯖のPR活動に努める。</p> <p>(実施時期): 令和3年5月 ~ 令和4年3月</p> <p>(参加人数): -</p> <p>(成果): コロナ禍での運用を考察し、貸し出しを行った。</p> <p>(評価): 種々のメディア情報利用して広報活動も向上している。(NHK全国中継番組)</p> <p>(今後に向けて): ボランティアメンバーの活動で大変苦勞が多いが、メンバー補充をしながら幅広く活動できるよう進める。</p>

事業名	8-⑭ 竹馬世界選手権大会
事業費	134,062円
事業概要	<p>(実施内容): 今回で第4回目となる「竹馬世界選手権大会」開催を企画したが、地域を超えての参加となる為、コロナ感染を考え、早期に中止を決定した。手作りの竹馬準備も困難で、今後の事も考え、鉄馬を購入して備えることとした。</p> <p>(実施時期): 令和4年2月20日実施予定のところ、コロナ感染拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>(参加人数): -</p> <p>(成果): 地域のボランティアが中心の活動で、中止の決定の影響は大きい。しかし、今後につなげるためぎりぎりまで協議を重ねたメンバーの結束は高まったと言える。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 地区外からの交流も増え小鯖の文化を保存する意味で、小鯖伝統の手作りの竹馬は、今後も継承する。竹馬大会の多くの人の関わりで運営する取組み方を他の事業に参考にして進める。</p>

事業名	8-⑮ 社会教育協賛
事業費	40,000円
事業概要	<p>(実施内容): 中学校区域の健全育成への運動へ協力活動(大内小鯖地域協育ネット)した。(鳴滝プール管理は、コロナ禍により中止した)</p> <p>(実施時期): 大内小鯖地域協育ネットの活動支援(令和3年11月末)</p> <p>(参加人数): 大内小鯖地域協育ネットのリーフレット 300枚分負担、</p> <p>(成果): リーフレット配布により、地域の子供は地域で育てるとの意識向上に繋がっている。</p> <p>(評価): -</p> <p>(今後に向けて): 大内小鯖地域協育ネット活動に対しては、今後も協力して行く。鳴滝プールについては、自然との一体感や清流の中での活動等が出来るということで、地区外からも多くの親子連れに利用されていることから取組みを継続する。</p>

事業名	8-⑩小鯖これからプロジェクト
事業費	51,469円
事業概要	<p>(実施内容):第4次地域づくり計画策定に向け、令和3年度は「全住民アンケート」の結果に基づき役員や世代別など様残な形で説明会や分析を進めた。</p> <p>(実施時期):地域住民や、世代別で分析検討を4～6月で実施、いくつかの課題から、地域住民による助け合いの仕組み検討が10月～3月にわたり開始された。</p> <p>(参加人数):地域住民多数、プロジェクトの構成員(協議会事務局役員、地域交流センター地域担当、協働推進課、やまぐち県民活動支援センター、山口市市民活動支援センター、山口市北東地域包括支援センター)が支援及び参加した。</p> <p>(成果):3月時点で第4次地域づくり計画策定の準備へ向け目鼻が付いた。</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):次年度以降計画策定委員会の設置具体的計画立案を最重要課題として取り組む。</p>

事業名	8-⑪ 掲示板・反射鏡設置補助
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容):地域のコミュニティ活動を促進する目的で、掲示板設置。交通事故防止の目的で里道に反射鏡設置。これらの事業について助成を計画した。</p> <p>(実施時期):令和3年5月～令和4年3月</p> <p>(参加人数):具体的申請はなかった。</p> <p>(成果):—</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):地区の要望に応じて、継続して推進する。</p>

事業名	8-⑫ 萩往還看板移設
事業費	354,768円
事業概要	<p>(実施内容):萩往還沿いに設置している、萩往還の歴史について記述してある看板の移設。(無償で借り受けていた土地の売買に伴うもの)</p> <p>(実施時期):令和4年2月</p> <p>(参加人数):—</p> <p>(成果):—</p> <p>(評価):新たな設置場所についても、これまで同様散策される方にとっても見やすい場所となっている。</p> <p>(今後に向けて):歴史の道萩往還へ多くの方に気持ちよく訪れていただくよう整備に取り組む。</p>

その他

事業名	予備費
事業費	0円
事業概要	<p>(実施内容):</p> <p>(実施時期):</p> <p>(参加人数):</p> <p>(成果):</p> <p>(評価):—</p> <p>(今後に向けて):</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。